

平成28年度

大洲から「体験の風をおこそう」運動推進事業

ふれあいアウトドア体験 夏編

- この夏最初の親子イベント! -

活動ゲスト!

1回目 平成28年7月16日(土)~17日(日)

2回目 平成28年7月17日(日)~18日(月)



概要

事業名：ふれあいアウトドア体験夏編
 主催：大洲から「体験の風をおこそう」
 運動推進事業実行委員会
 期日：1回目
 平成28年7月16日(土)~17日(日)
 2回目
 平成28年7月17日(日)~18日(月)
 会場：国立大洲高小交流の家
 対象：小学校5~6年生の親子
 参加者 計101名(50家族)
 <内訳> 1回目 2回目
 小学生 51名 50名
 保護者 50名 50名

開講式

城戸委員長の開会あいさつ
(1回目)

佐藤事務局長の開会あいさつ
(2回目)

カヌー体験

カヌー前の
準備運動

TV取材も!

担当スタッフより

冠休みを目前に控えた3連休に、親子で楽しめる体験活動をプログラム化し、1泊2日の事業を2回実施した。
 日中は交流の家でも人気のアウトドアプログラムであるカヌーとスポーツクライミングを実施し、親子で心地よい汗を流していただいた。カヌー体験では親子で仲良く流川の水面をこぎ進める姿が見られた。チェーンカヌーも成功し、参加者の満足度も高められた。クライミング体験では、我が子をビレイしながら、子どもの成長を頼もしく感じる保護者の姿が印象的であった。また、夜は参加者同士の交流を深めるレクリエーションや、個人、親子、集団で楽しめるカラフルブロックの体験活動に取り組んだ。親子で力を合わせてそれぞれのプログラムに取り組む姿が随所に見られた。



親子でチーズ!



がんばってまーす



上手に乗れるようになったよ!



チェーンカヌーも成功!

わらい

- ・様々な野外体験を通して、自然の素晴らしさ・野外体験の楽しさを実感する
- ・親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育む。
- ・「体験の風をおこそう」運動推進の機運向上を図る。



カブラブロック



レクリエーションで参加者間の交流を図りました。



親子で力を合わせて一番になろうね！



息子：動かないでよ！
父親：慎重に置けよ！



複数の親子で合同制作。緊張しました！



親子対決は、子どもたちに軍配が上がりました！



最後は「トムのナイヤガラ」子どもたちの作品です。

スポーツクライミング



一番上まで上げられるようまずは準備運動を！



注意や登り方を教わります。高そうだなあ・・・。



ハーネスは正しく装着



まずは3mで練習開始



一番上まで登れたよ！



最後はみんなで記念撮影

参加者の声

- ・日頃は単身赴任で子供とあまり接していなかったので、良い機会を作っていただきありがとうございました。
- ・クライミングはいつも子供がするのを見るだけでしたが、実際に自分もやってみて話題が増えてよかったです。
- ・3家族同室になりましたが、子供たちがすぐに仲良く遊んでくれてよかったです。
- ・いろいろな体験をすることができ、大変良い思い出ができました。
- ・こういう機会がないとできないカヌーやクライミングが体験できてよかったです。親子で貴重な体験ができました。
- ・子供のコミュニケーション能力やチャレンジ精神が思ったよりあることなど、普段気がつかない一面が見られた。
- ・子供の成長を促す一環で、カヌーやクライミングなど、普段できない体験ができるのは良いことだと思う。
- ・他の家族とふれあう機会が少なかったのが残念だった。特に子供は友達を作るのを楽しみにしていたので・・・。
- ・最後に班やグループに分かれての感想発表や、グループワーク的な時間を設けてはどうか、他の参加者のふれあいや考え方を知る機会になると思います。
- ・何でもめんどくさがりすぎちゃダメだってことがわかった。(小学生)